

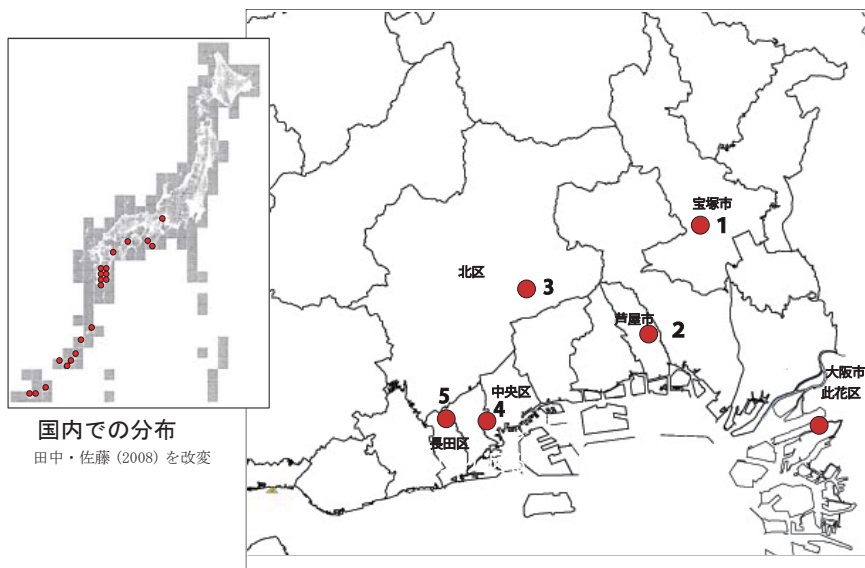
神戸・阪神のモエジマシダ

モエジマシダ *Pteris vittata* L. (イノモトソウ科) は世界の熱帯・亜熱帯での石垣などに生えるシダ植物です。長さ 50cm ほどで、葉の根元は毛むくじゃらです。鹿児島もえじまの桜島の北東の新島(燃島)に因みます。

日本では九州南部～琉球に分布して、本来は兵庫県には自生しない「国内外来種」で、観葉植物とともに持ち込まれたと考えられます。

1970年代には神戸市中央区・宝塚市、ここ10年のうちに、神戸市長田区・北区・芦屋市、大阪市此花区でも発見され、分布が拡大しています。都市のヒートアイランドの影響があるのかもしれませんが。

お住まいの近くでも見かけられましたら、ひとくまで一報下さい。



神戸・阪神でのモエジマシダの分布



1. 宝塚市栄町 ガーデンフィールズ
温室の周辺。1970年代から知られる。20株程度。



2. 芦屋市朝日ヶ丘町
石垣のすき間。2011年に確認。200株以上。



3. 神戸市北区 唐櫃南 IC 付近
コンクリ壁のすき間。2007年に発見。50株程度。



4. 神戸市中央区楠町 神戸市立中央図書館
レンガのすき間。1970年代から知られる。10株程度



5. 神戸市長田区鶯町
石垣のすき間。2012年に発見。100株程度。



いっしょに見られるシダ植物